

<愛称>
*Better
World*

世界インパクト投資ファンド

追加型投信／内外／株式

世界インパクト投資ファンド(資産成長型)

追加型投信／内外／株式

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

お申込みの際は最新の『投資信託説明書(交付目論見書)』等を必ずご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)の
ご請求・お申込み

マネックス証券株式会社

マネックス証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

大和住銀投信投資顧問では、
当ファンドのご案内等の情報提供
を行っております。



世界インパクト

検索

次の世代に先送りできない
社会的課題の解決へ向け、
すでに世界は動き出している。

世界が取り組む17の目標 (SDGs)



国連広報センター作成

2015年に国連が採択した「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲット。

SDGs (エス・ディー・ジーズ) 「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称



「世界最大の問題は、世界最大の ビジネス・チャンスでもある。」

(ピーター・ディアマンディス、Xプライズ財団の代表でありシンギュラリティ大学の共同設立者)

当ファンドは、社会的課題の解決に取り組み、

社会の根源的ニーズを満たすことで生まれる「新市場で成長する企業」に投資します。



未開拓市場の 成長を享受

当ファンドは、革新的な技術やビジネスモデルによって社会的課題を解決し、創出される未開拓の新市場で成長する企業の株式に投資します。



市場が気づいていない 銘柄への投資

社会的課題はその評価が難しいからこそ、一般的な株式リサーチでは十分にカバーされない分野です。当ファンドはインパクト投資の専門家が銘柄選定を行います。



インパクト投資への 投資機会

インパクト投資は、未公開企業やプロジェクトへの投資などに限られたものではありません。当ファンドは、綿密なリサーチを行うことで、上場企業の株式を通じたインパクト投資への投資機会を提供します。

「インパクト投資」とは？

「社会貢献」
(社会的課題の解決)



「経済的成功」
(経済的利益)



(イメージ図)

「インパクト投資」は、民間企業の力を活用して社会的課題を解決すると同時に経済的利益を追求するという、ESG投資の中でもより積極的に経済的利益を追求する新しい投資の考え方。

社会的課題を解決する＝持続可能な社会を実現しつつ、新たなビジネスチャンスを生み出し、市場に新しい価値を提供する投資として今後の更なる成長が期待されています。

未開拓市場の創出と市場機会

イノベーションによって社会的課題を解決する企業(インパクト企業)は、巨大な潜在需要を顕在化し、生まれる新市場での高い成長機会を得ます。

社会的課題の解決によって生まれる新市場のイメージ

社会の根源的ニーズという巨大な潜在需要の顕在化により、巨大な新市場が生まれます。



インパクト企業の事業成長イメージ

社会的課題を解決し新市場を創出した企業は、競争の少ない未開拓市場での高い成長機会を得ます。



各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

当ファンドは、2030年のSDGs達成までに生まれると予想される新たな市場機会にも着目しています。

SDGs達成によってもたらされる市場機会

年間最大12兆米ドルの市場機会

2030年までに3.8億人の雇用を創出



各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

当ファンドは、投資を通じてSDGsの達成を応援します。

●民間からの資金調達を目指す

■当ファンドのイメージ



●公的など従来の部門だけでは資金は不足



※上記はイメージでありすべての資金の流れを示したものではありません。

※当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

未開拓市場を切り拓く成長企業例

サファリコム／ケニア

2007年からケニアで携帯電話のショートメールを使ったモバイル送金サービスを提供することで、銀行口座を持ってない貧困層に金融サービスの利用を広める。

ケニアの成人の75%がサービスを利用



社会的課題

2007年当時、人口の7割が銀行口座を持ってず、出稼ぎに出ても家族に安全に送金できなかった。

サファリコムの取り組み

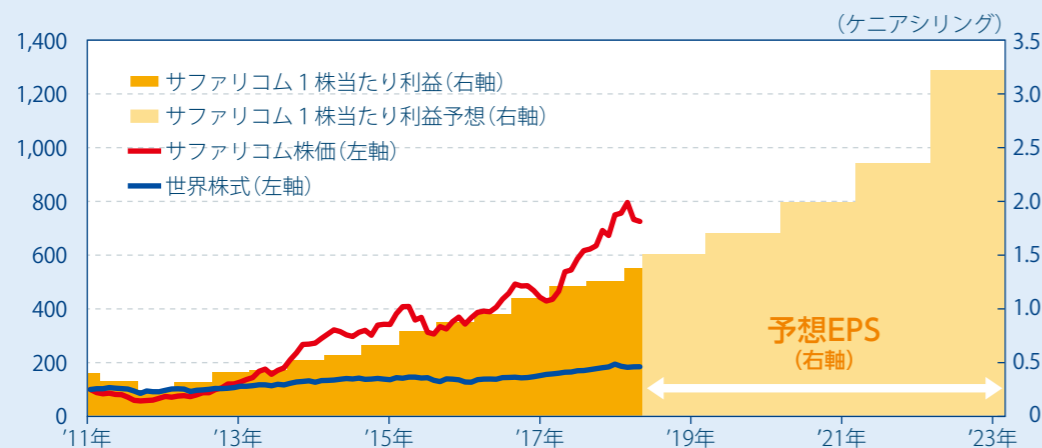
誰もがどこでも、簡単に安い料金で、安心して利用できる携帯電話を使った送金サービスを提供。

社会へのインパクト

サービス利用は広がり、ケニアのモバイルマネーの取引総額はGDPの約半分の規模となり経済を活性化。

各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

株価と1株当たり利益 (EPS) の推移



※グラフ期間は2011年1月から2023年3月。※サファリコム株価(米ドル換算、配当を再投資したものと計算)、世界株式は2011年1月を100として指数化。期間は2011年1月～2018年5月 ※世界株式はMSCI ACWI Index (配当込、米ドルベース)、世界株式は参考のために記載したものであり当ファンドのベンチマークではありません。※2018年6月以降の1株当たり利益は、2018年6月現在のBloomberg予想。

(出所) ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、Bloomberg等より大和住銀投信投資顧問作成

※上記は、2018年5月末現在の組入銘柄をご紹介しますものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ザイレム／米国

世界各国の上下水道や産業施設向けに、優れた水処理技術によるソリューションを提供することで世界の水資源を守る。

世界の6億人がきれいな水を飲めない



社会的課題

きれいな水が飲めないことで毎日800人以上の乳幼児が亡くなっている。

ザイレムの取り組み

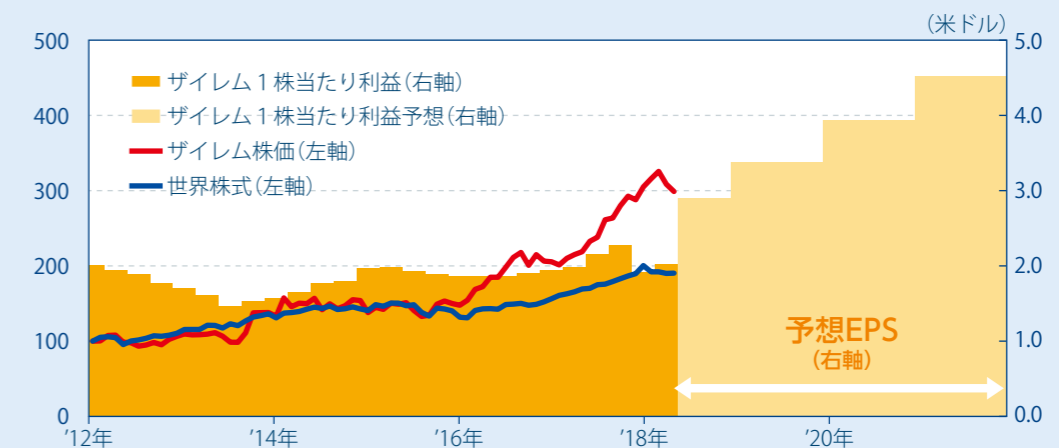
150カ国以上に上下水道や水の再利用のための水システムを提供。

社会へのインパクト

- 下水処理システムにより多くの人々の衛生状態を改善。
- 水の再利用によって限られた水資源の確保を助ける。

各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

株価と1株当たり利益 (EPS) の推移



※グラフ期間は2012年1月から2021年12月。※ザイレム株価(配当を再投資したものと計算)、世界株式は2012年1月を100として指数化。期間は2012年1月～2018年5月 ※世界株式はMSCI ACWI Index (配当込、米ドルベース)、世界株式は参考のために記載したものであり当ファンドのベンチマークではありません。※2018年6月以降の1株当たり利益は、2018年6月現在のBloomberg予想。

(出所) ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、Bloomberg等より大和住銀投信投資顧問作成

※上記は、2018年5月末現在の組入銘柄をご紹介しますものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。



当ファンドの投資テーマ

当ファンドは、国連が掲げるSDGs (持続可能な開発目標) の17のテーマをカバーする「**衣食住の確保**」、「**生活の質向上**」、「**環境問題**」の3つのカテゴリーに着目し、それぞれ3から4種類の投資テーマを設定しています。

社会的課題に関連する10の投資テーマ

衣食住の確保	生活の質向上	環境問題
<p>持続的農業と栄養支援</p>  <p>健康促進</p>  <p>住居の確保</p>  <p>水問題と公衆衛生</p> 	<p>教育と職業訓練</p>  <p>金融サービス</p>  <p>デジタルツールとサイバーセキュリティ</p> 	<p>代替エネルギー</p>  <p>環境保全</p>  <p>資源の効率化</p> 

※投資テーマおよび投資テーマの数は、2018年5月末現在においてウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが独自に設定したものであり、適宜または将来において変更されることがあります。また、上記投資テーマのうち、複数の投資テーマにまたがる事業を行う企業へ投資する場合があります。

当ファンドは、株式投資を通じて「社会的課題を解決することで、私たちが住み良い社会“Better World”の実現を助ける企業」を応援します。

世界が取り組む社会的課題

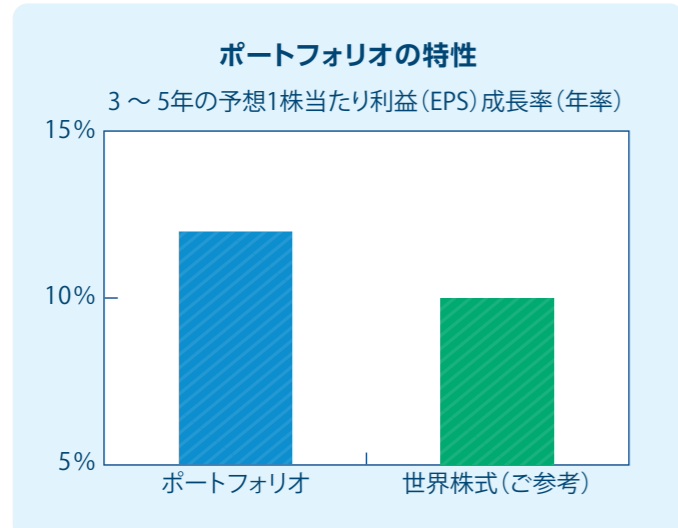
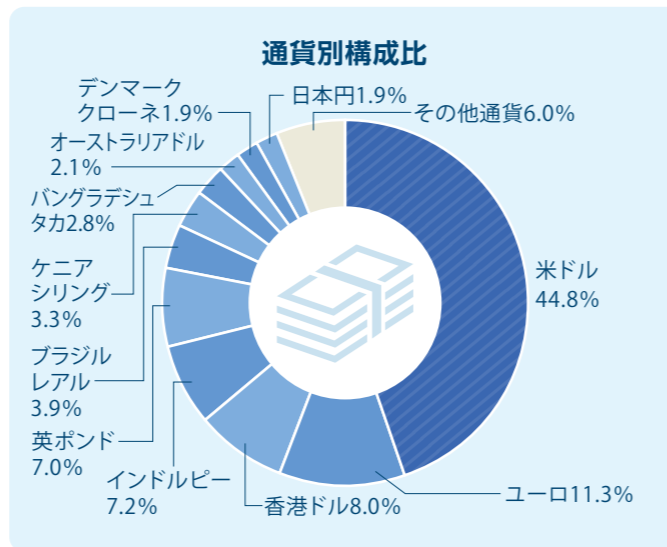
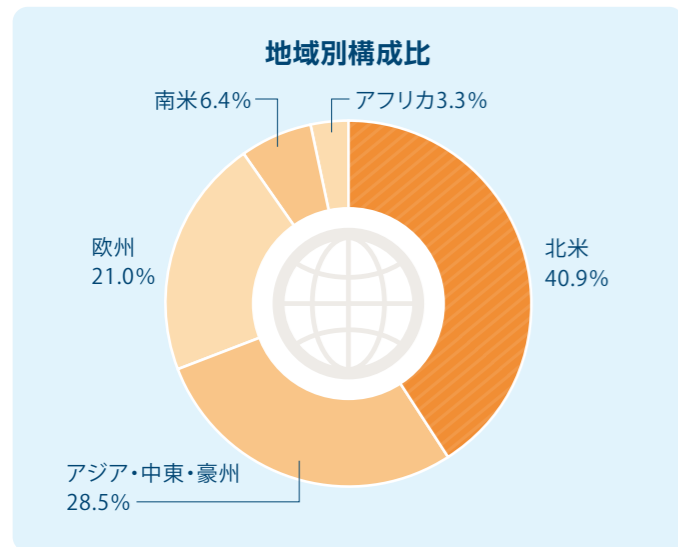
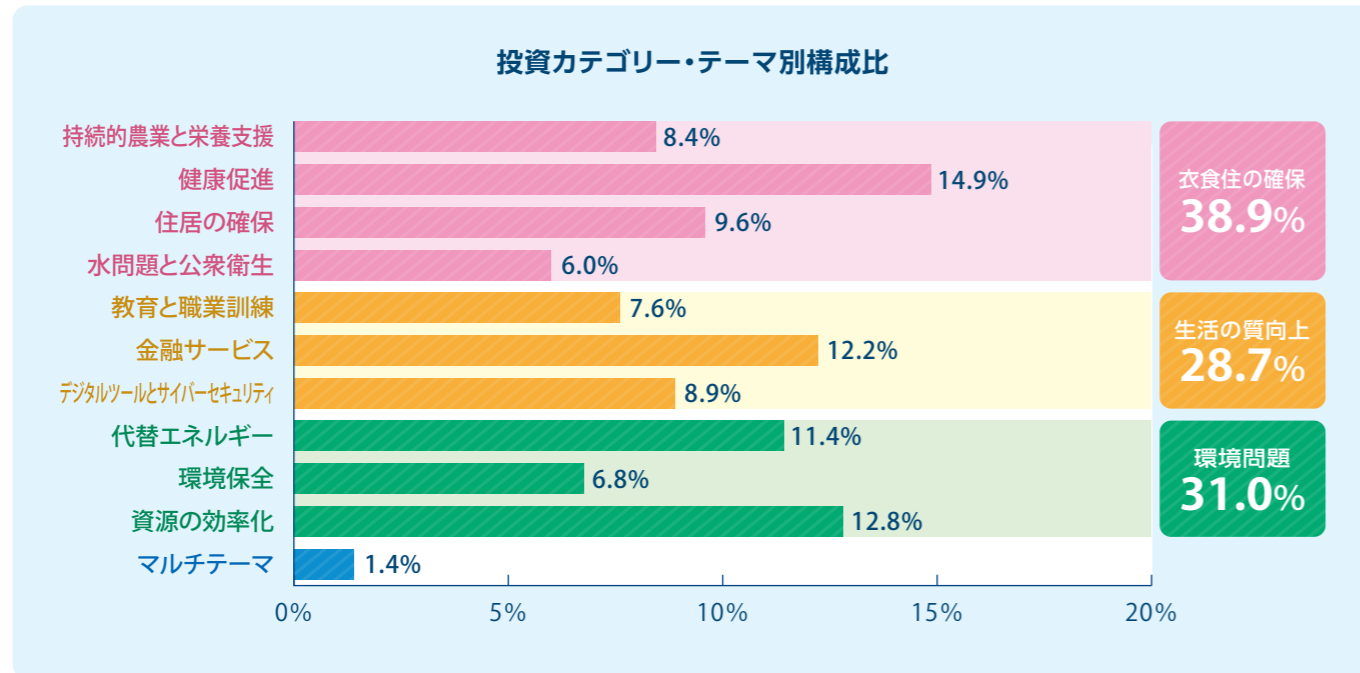
世界の8億人が十分な食事をとれない		世界の8億人は読み書きができない	
治療法が確立されない難病が存在		世界の成人20億人が銀行口座を持ってない	
地球温暖化によって異常気象が増加		世界の6億人がきれいな水を飲めない	
低品質の設備で1/6の電力が失われる		世界の16億人が劣悪な住環境におかれる	

※当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

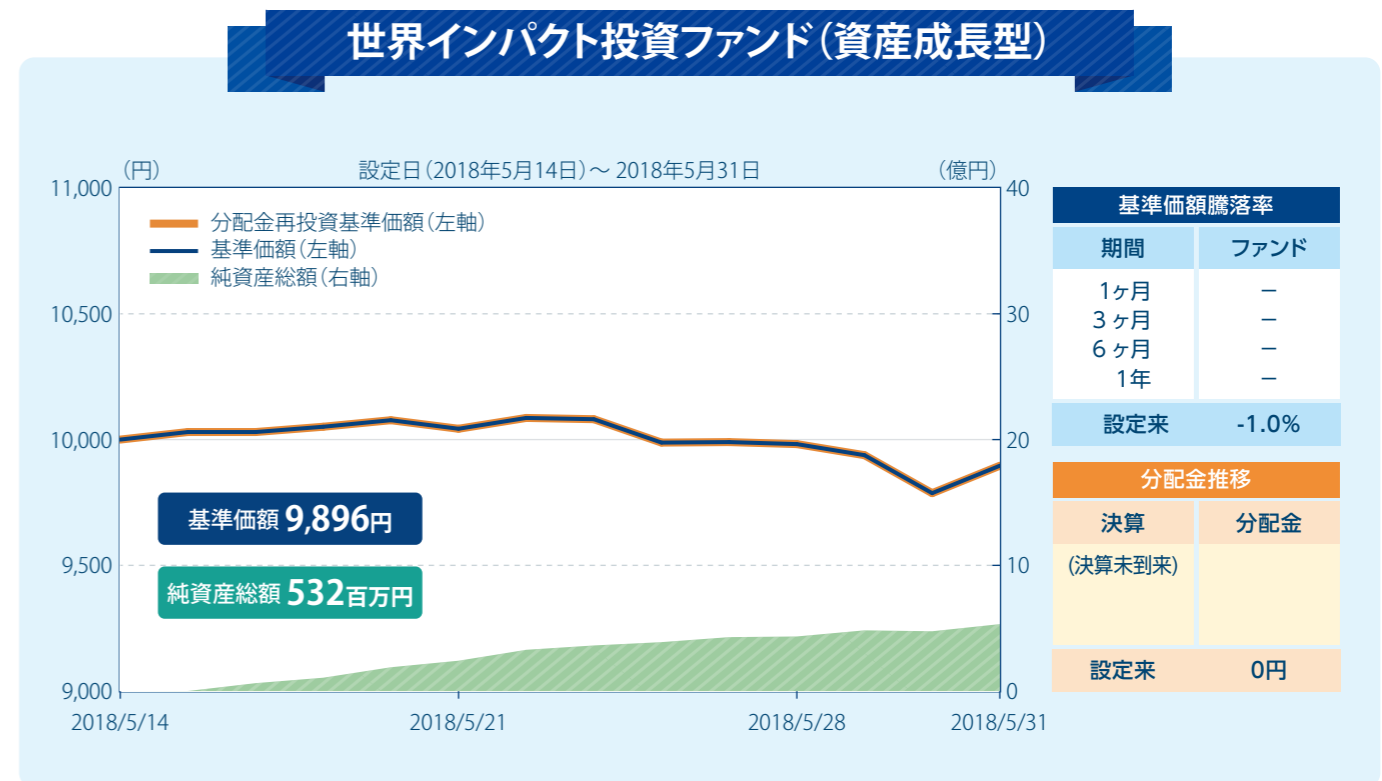
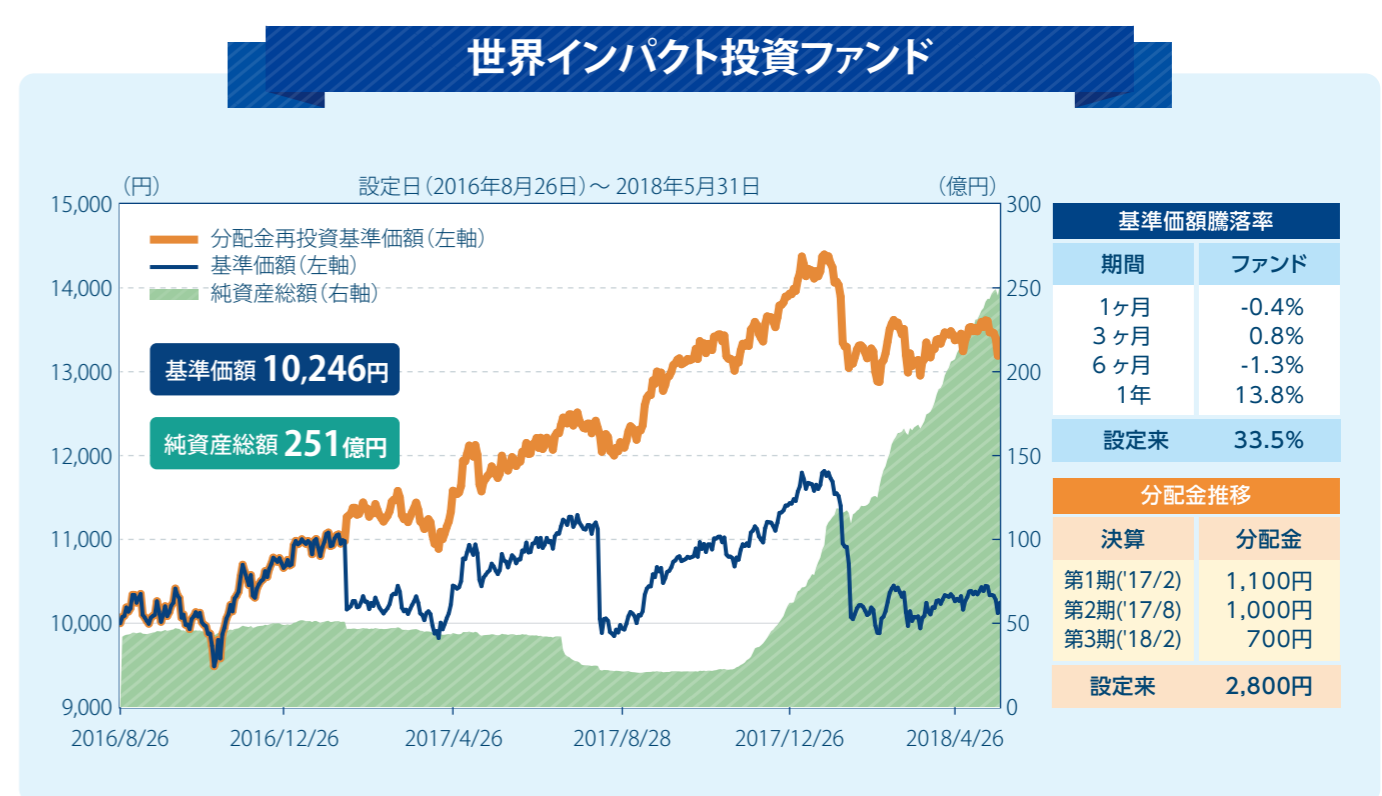
当ファンドの運用状況(2018年5月末)

■ポートフォリオ(世界インパクト投資マザーファンド)の状況



※投資カテゴリー・テーマ別構成比は、現物株とその他(含むETF等)の合計の時価総額対比。※地域別および通貨別構成比は現物株(含むETF)の時価総額対比。※四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。※投資カテゴリー・テーマは、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが独自に設定したものであり、今後変更される場合があります。また、複数の投資テーマ(マルチテーマ)にまたがる事業を行う企業へ投資する場合があります。※EPS予想は2018年5月末時点のウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー予想。※世界株式:MSCI AC World Index、当指数は当ファンドのベンチマークではありません。※ファンドの運用成果、分配金水準等を示唆、保証するものではありません。※ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー提供データより作成。

■基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後、分配金落ち後のものです。※分配金再投資基準価額とは、収益分配金(税引前)を決算日に再投資したものとみなして修正した価額です。※騰落率は分配金再投資基準価額をもとに算出・表示。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。※収益分配金は税引前1万円あたりの金額です。※分配対象額が少額な場合等には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません。



運用を支える強い信念と、高度な調査・運用力(運用プロセスについて)

世銀エコノミストや外交官としての実体験をもとに、投資を通じて社会的課題を解決することに強い信念を持ったメンバーを含む専門家チームが運用を行います。

「インパクト企業は革新的なソリューション、大規模な潜在的市場、メガトレンドとの合致などによる構造的な優位性がある」



外交官としてアフリカのルワンダに駐在。その後、世界銀行で新興国を担当するエコノミストとして勤務。1997年よりウエリントン在籍。ハーバード大学博士号。
インパクト投資運用チーム
ポートフォリオ・マネージャー
エリック・ライス

インパクト投資の投資プロセスのあらゆる工程に、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの高度な調査・運用力を生かします。

インパクト投資運用チーム

インパクト投資チームによるリサーチ

テーマ分析

アセット・アロケーション
マクロ・リサーチ
産業見通し、未来テーマ
社内アドバイザー・
カウンセラー

グローバル
インパクト投資

個別企業リサーチ

グローバル産業アナリスト
株式、債券運用チーム
ESGチーム
社内のその他リソース
外部カウンセラー

トレーディング、ポートフォリオ構築、リスク管理

ポートフォリオ・アナリスト、リスク管理、プロダクト・マネジメント

(出所)ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料より大和住銀投信投資顧問作成

インパクト投資の専任チームが、独自のリサーチと綿密な分析により投資銘柄を選定します。

運用プロセス(イメージ図)

投資テーマの絞り込み

ウエリントン独自のリサーチに加え、複数の情報ソースから10の投資テーマを絞り込み

独自リサーチ



複数の情報ソース

国際会議、検討会、フォーラムへの参加、インパクト投資家や活動家との情報共有、ネットワークや外部諮問会議などの複数の情報ソースへアクセス

3つの基準でスクリーニング

10の投資テーマに沿って、各銘柄を3つの基準でスクリーニング

投資候補銘柄の3つの選定基準

1.集中度

インパクト事業への集中度、事業比率

2.課題解決法

課題解決法やアプローチの独自性、企業をもたらす追加効果

3.定量評価

社会的課題解決の定量評価

投資銘柄の選定

ファンダメンタル分析等を行い、株価上昇ポテンシャルを見極め、投資銘柄を選定

ポートフォリオ

投資銘柄によりポートフォリオを構築

ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーについて

- ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、100兆円以上の資産を預かる米国で最も歴史ある運用会社の一つ「ウエリントン・マネージメント」グループの資産運用の中核会社です。
- 「ウエリントン・マネージメント」グループは、600名以上の運用専門家による高度な運用力を背景に、世界60カ国以上の顧客に資産運用サービスを提供しています。 ※2017年9月現在

※投資テーマおよび投資テーマの数は、2018年5月末現在においてウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが独自に設定したものであり、適宜または将来において変更されることがあります。また、上記投資テーマのうち、複数の投資テーマにまたがる事業を行う企業へ投資する場合があります。
※運用プロセスは将来見直される場合があります。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色

特色 1 マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指します。

- 当ファンドは、「世界インパクト投資マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
- 銘柄選定にあたっては、社会的課題の解決(社会的インパクト)に取り組む企業に着目し、個々の企業のファンダメンタル分析等を行い、投資魅力のある銘柄に投資します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

特色 2 実質的な運用は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが行います。

- マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーへ委託します。

特色 3 「世界インパクト投資ファンド」と「世界インパクト投資ファンド(資産成長型)」の2つのファンドからお選びいただけます。

- ◆「世界インパクト投資ファンド」は、毎年2月、8月の10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。
- ◆「世界インパクト投資ファンド(資産成長型)」は、毎年8月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。第1回決算日は2018年8月10日とします。
- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。
- 収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 販売会社によっては、2つのファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。なお、販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申込の際には、販売会社からお渡しします『投資信託説明書(交付目論見書)』の内容を必ずご確認ください。

基準価額の変動要因

基準価額を変動させる要因として主に以下のリスクがあります。ただし、以下の説明はすべてのリスクを表したものではありません。

 株価変動に伴うリスク	株価は、発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響されます。これらの要因により、株価が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。
 為替リスク	当ファンドは、マザーファンドを通じて外貨建資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます。また、当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があり、この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
 カントリーリスク	投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制が変更されたりする場合があります。さらに、外国政府が資産の没収、国有化、差押えなどを行う可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
 新興国への投資のリスク	新興国は、先進国と比べて経済状況が脆弱であるとされ、政治・経済および社会情勢が著しく変化する可能性があります。想定される変化としては、次のようなものがあります。 ・政治体制の変化 ・社会不安の高まり ・他国との外交関係の悪化 ・海外からの投資に対する規制 ・海外との資金移動の規制。さらに、新興国は、先進国と比べて法制度やインフラが未発達で、情報開示の制度や習慣等が異なる場合があります。この結果、投資家の権利が迅速かつ公正に実現されず、投資資金の回収が困難になる場合や投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない可能性があります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
 信用リスク	株式の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価が大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
 流動性リスク	実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

お申込みメモ

購入単位	お申込みの販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 換金代金は、原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、英国証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日と同日の場合はお申込みできません。
信託期間	●「世界インパクト投資ファンド」……………2016年8月26日～2026年8月10日(約10年) ●「世界インパクト投資ファンド(資産成長型)」…2018年5月14日～2026年8月10日(約8年)
決算日	●「世界インパクト投資ファンド」は、毎年2月、8月の10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。 ●「世界インパクト投資ファンド(資産成長型)」は、毎年8月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。第1回決算日は2018年8月10日とします。
収益分配	●「世界インパクト投資ファンド」は年2回の決算時に分配を行います。 ●「世界インパクト投資ファンド(資産成長型)」は年1回の決算時に分配を行います。 *分配金自動再投資型を選択された場合は、税金を差引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

ファンドの費用

当ファンドのご購入や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入価額に 3.24%(税抜3.0%)を上限 として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。 ※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。	
信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に 年率1.944%(税抜1.80%) を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 ●「世界インパクト投資ファンド」の運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 ●「世界インパクト投資ファンド(資産成長型)」の運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 <運用管理費用(信託報酬)の配分>	
	委託会社	年率1.05%(税抜) ファンドの運用等の対価
	販売会社	年率0.70%(税抜) 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
	受託会社	年率0.05%(税抜) 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
※委託会社の報酬には、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の額は、信託財産に属するマザーファンドの時価総額に対して年0.65%以内の率を乗じて得た金額とし、委託会社が報酬を受け取った後、当該報酬から支払います。		
その他の費用・手数料	財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。 ※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みの際は最新の『投資信託説明書(交付目論見書)』等を必ずご覧ください。

大和住銀投信投資顧問では、インターネットによりファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。

<http://www.daiwasbi.co.jp>

■当資料は、大和住銀投信投資顧問が作成した販売用資料です。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

(2018年6月作成)

こどもたちの未来のために
すでに世界は動き出している。

Building a Better World for Children



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments